



日々新たに

逆境に立ち向かう気持ち

先日閉幕した東京パラリンピックでは、様々な障害を抱えた世界中の選手たちが自らの可能性に挑み、力と技を競いました。その姿からみなさんも多くの感動を受け取ったことと思います。

その中で特に心に残っているのは、競泳女子の背泳ぎで銀メダル2個を獲得した山田美幸選手です。山田選手は14歳の中学3年生です。両方の腕がなく、両足の長さが違い



ます。キック力を鍛（きた）えるだけでなく、バランスを保つ練習を重ねて、夏冬を通じて日本のパラ史上最年少のメダリストとなりました。競技後に見せた笑顔から、逆境に立ち向かう気持ちをもらった人が多かったのではないのでしょうか。今大会では、山田選手をはじめ、各国の選手が努力と工夫を重ねて障害を乗り越え、コロナ禍の中で力を発揮していました。

私たちの学校生活は、分散登校から通常登校に戻りましたが、感染防止を図るため、まだまだ活動には制限が不可欠です。今後もみなさんにとって不自由だと感じたり、思うようにできないと感じたりすることがあるでしょう。そのような逆境の中で、どうしたらみんなで楽しく過ごせるのか、どうしたら自分の力を正しく発揮できるのか、一人一人が努力と工夫を重ねて行動してほしいと思います。これが、いつもみなさんに伝えている「**主体性を持つ**」ということです。もちろん、自分だけで解決できないこともあるでしょう。そんな時はいつでも先生たちに相談を

してください。そしてみんなの力でこの逆境を乗り越えていきましょう。

また、分散登校を経験したことで、全員が一緒に学校生活を送れるということが、当たり前なことではないと感じた人もいるでしょう。ぜひ、全員が一緒に学校生活を送れるということをしっかりと受け止めて、一日一日を大切に過ごしていきましょう。



(分散登校時の授業の様子)

体育祭スローガン「**逆境なんて吹き飛ばせ！嵐の藤中魂**」

10月8日（金）に体育祭が開催されます。規模が縮小され、学年ごとの実施となります。制限の厳しい形となりましたが、このスローガンのように逆境に負けず、自分の力を高め、そして、クラスの団結を深めてほしいと思います。藤沢中のみんななら嵐を起こせます！

1年生「**オレンジガーデニングプロジェクト**」

9月は「世界アルツハイマー月間」でした。藤沢地区は市内で最も高齢者が多く、以前から認知症サポーター養成講座等にも取り組んできました。今回は「認知症になっても希望をもって自分らしく暮らし続けられる社会」に向けた活動として、シンボルカラーであるオレンジの花を作る「オレンジガーデニングプロジェクト」に1年生の生徒が全員参加しました。



2年生「**手紙の書き方体験講座**」

9月30日（木）に2年生で「手紙の書き方体験講座」を実施しました。地域の郵便局の局長さんたちをお招きし、はがきや手紙の幅広い知識や書き方を学びました。そして、コロナ禍で会えない祖父母や親戚の方への手紙を書きました。改めて手紙の文化の温かさを感じることができました。

秋の読書 **おすすめの1冊**

町田そのこ 著「コンビニ兄弟」です。九州のとあるコンビニ店を舞台に、悩みを抱えた人たちとの交流を描いた、心温まる連作短編集です。個性的なコンビニ店長と何でも屋の兄を中心に、心に傷を負った人たちの立ち直っていく様子が描かれています。胸が熱くなるシーンを味わうことができ、元気をもらいました。つらい逆境の中でも、この本を読むことでちょっと頑張ってみようかなという前向きな気持ちが持てると思います。



新型コロナ感染症防止について

緊急事態宣言が解除となりましたが、本校では、先日、感染症拡大防止のため2年生で学年閉鎖と学級閉鎖を実施したばかりです。これからは、体育祭、中間テスト、修学旅行や校外学習、3年生にとっては、受験などへ向けた進路関係のスケジュールが控えています。これらが順調に進められるよう、学校も感染防止対策を徹底してまいります。ご家庭でもご協力のほどよろしくお願いいたします。

今月の言葉

ざゆう めい
山田美幸選手の座右の銘

むよく たいだ もと
「無欲は怠惰の基である」

（渋沢栄一の言葉）